



祐介の目

No.166

大田祐介（福山市議会議員）

戦後80年

私が初めて戦争の悲惨さを意識したのは、小学5年生の時に行った沖縄家族旅行であった。南部のひめゆりの塔や海軍司令部壕等を訪問し、お土産に大田昌秀著「これが沖縄戦だ」を買った。凄惨な写真満載で今でも心に残る。

この夏は「沖縄シュガーローフの戦い・米海兵隊地獄の7日間」を読み、首里近郊の日米の正規軍が激突した戦場跡を訪問した。日本軍が地下要塞化し米軍を苦しめたシュガーローフはわずか標高15mの丘で、頂上には巨大な配水タンクが建設され当時の面影は無かった。それでも頂上に立てばこの丘を巡って戦死した数千名もの日米兵士に思いを馳せることができた。

小学6年生の時に読んだ菅野静子著「戦火と死の島に生きる・サイパン島全滅の記録」も衝撃的だった。当時18歳の菅野さんが野戦病院で看護婦として傷病兵を懸命に手当て

する体験談で、私も6月にサイパン島の野戦病院跡を訪問した。狭い谷間で、ほぼ野晒しの場所に2千人もの傷病兵が横たわり、最後は手榴弾で自決したくだりを思い起こすと涙が出た。振り返ると、昨年の10月20日にレイテ島のマッカーサー上陸80周年記念式典参加を皮切りに、戦後80年の節目に日米の主要な決戦場を訪問できたことは私にとつて大きな財産となった。これを議員として次世代に伝えたい。

毎年8月になると平和を願う人は多いと思うが、平和のために誰でもできる事は何点かある。①選挙に行くこと②利他の精神、人の悪口を言わないこと③民間外交、韓国や中国を嫌わず、民間同士で大いに交流を深めれば良い④戦争の歴史を勉強し、過去の戦争の起承転結から未来を予測する⑤戦没者の慰霊、靖国神社や護国神社に参拝する。⑥いつか「戦前」になるかもしれないという意識が必要。

9月21日は「世界平和デー」であり、全国の護国神社で平和を願う高校生による奉納揮毫が行われる。能舞台が蘇った備後護国神社では誠之館高校書道部が奉納するので、ぜひ見学にお越しください。